

道路メンテナンス年報の公表

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

平成29年8月30日
道路局 国道・防災課

橋梁等の平成28年度点検結果について ～道路メンテナンス年報（第3弾）の公表～

平成26年7月より、道路管理者は、全ての橋梁、トンネル等について、5年に1度、近接目視による点検を実施しています。
今回、3年目にあたる平成28年度の点検の実施状況や結果、措置状況を「道路メンテナンス年報」としてとりまとめましたので、お知らせします。

<ポイント>

- 平成26～28年度の点検実施状況は、橋梁54%、トンネル47%、道路附属物等57%と着実に進捗
- 判定区分Ⅳの施設の措置状況を初公表
→判定区分Ⅳの橋梁（396橋）のうち、23%（92橋）が撤去・廃止（予定含む）
- 判定区分Ⅱ、Ⅲの施設の修繕実施状況を初公表
→予防保全型の修繕（判定区分Ⅱの修繕）はまだ進んでいない状況（平成26年度点検：約3%、平成27年度点検：約1%）
- 市町村の体制を補うための地域一括発注の活用が増加（平成27年度：453団体→平成28年度：605団体）

- 健全性の判定区分
- I 健全（構造物の機能に支障が生じていない状態）
 - II 予防保全段階（構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態）
 - III 早期措置段階（構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態）
 - IV 緊急措置段階（構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態）

点検の実施結果等の詳細は、以下のホームページにてご覧いただけます。

http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/yobohozen/yobohozen_maint_h28.html

<問い合わせ先>

国土交通省 代表 TEL 03-5253-8111

【全般】道路局 国道・防災課 課長補佐 吉沢 仁（内線 37892）直通 03-5253-8492

【高速道路に関すること】

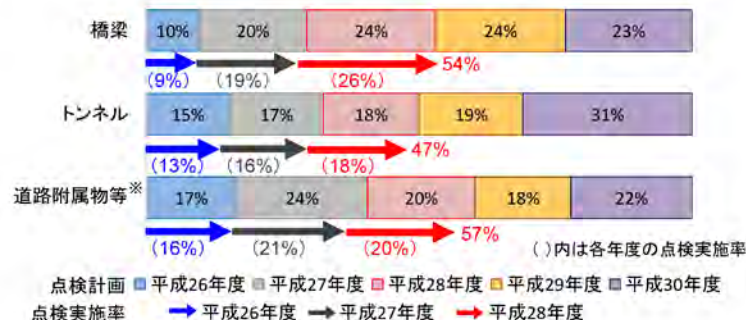
高速道路課 有料道路調整室 課長補佐 和田 圭仙（内線 37811）直通 03-5253-8492

【地方道に関すること】環境安全課 課長補佐 渡辺 隆幸（内線 38162）直通 03-5253-8495

橋梁、トンネル等の点検実施状況

○平成26～28年度の点検実施状況は、橋梁54%、トンネル47%、道路附属物等57%と着実に進捗。

平成26～28年度の点検実施状況

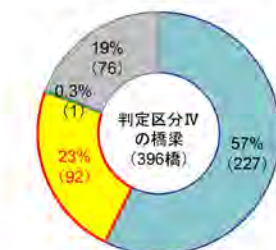


※道路附属物等：シェッド・大型カルバート、横断歩道橋、門型標識等

修繕・措置の実施状況

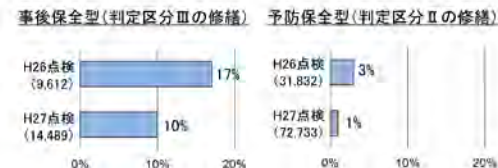
- 平成26～28年度に判定区分Ⅳと診断された橋梁のうち、23%（92橋）が撤去・廃止済み又は撤去・廃止予定。
- 平成26・27年度に点検を実施した橋梁の修繕着手率は、事後保全型（判定区分Ⅲの修繕）で約1～2割。
- 予防保全型（判定区分Ⅱの修繕）はまだ進んでいない状況。

判定区分Ⅳの橋梁の措置状況※1（予定含む）



■修繕 ■撤去・廃止 ■機能転換 ■未定

事後保全型、予防保全型の橋梁の修繕着手率※2



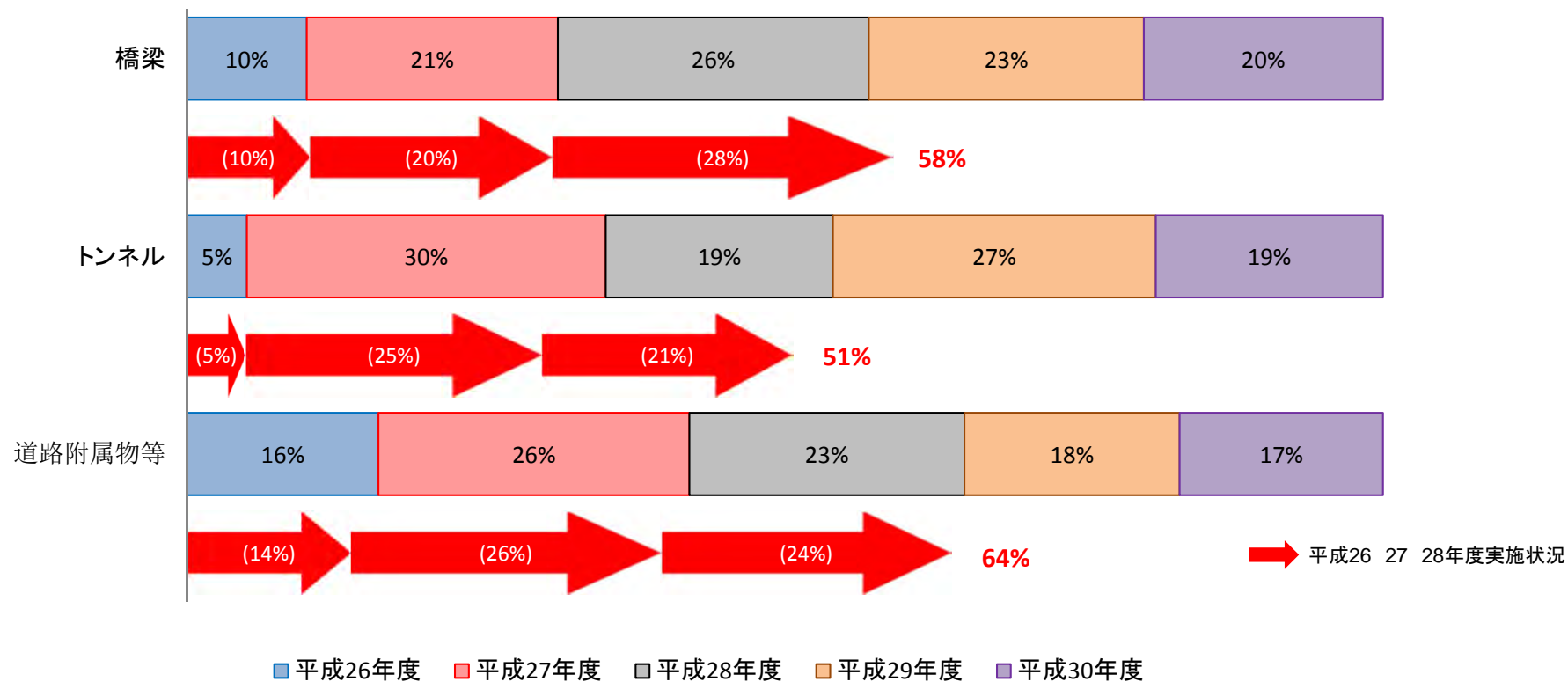
※1 平成26～28年度に判定区分Ⅳと診断された橋梁の措置状況（平成28年度末時点）

※2 平成26・27年度に判定区分Ⅱ、Ⅲと診断された橋梁のうち、修繕（設計を含む）に着手した橋梁の割合（平成28年度末時点）

平成26～28年度 点検実施状況《静岡県》

○平成26～28年度までの累積点検実施率は、橋梁約58%、トンネル約51%、道路附属物等約64%

<5年間の点検計画・累積点検実施率(全道路管理者合計)>



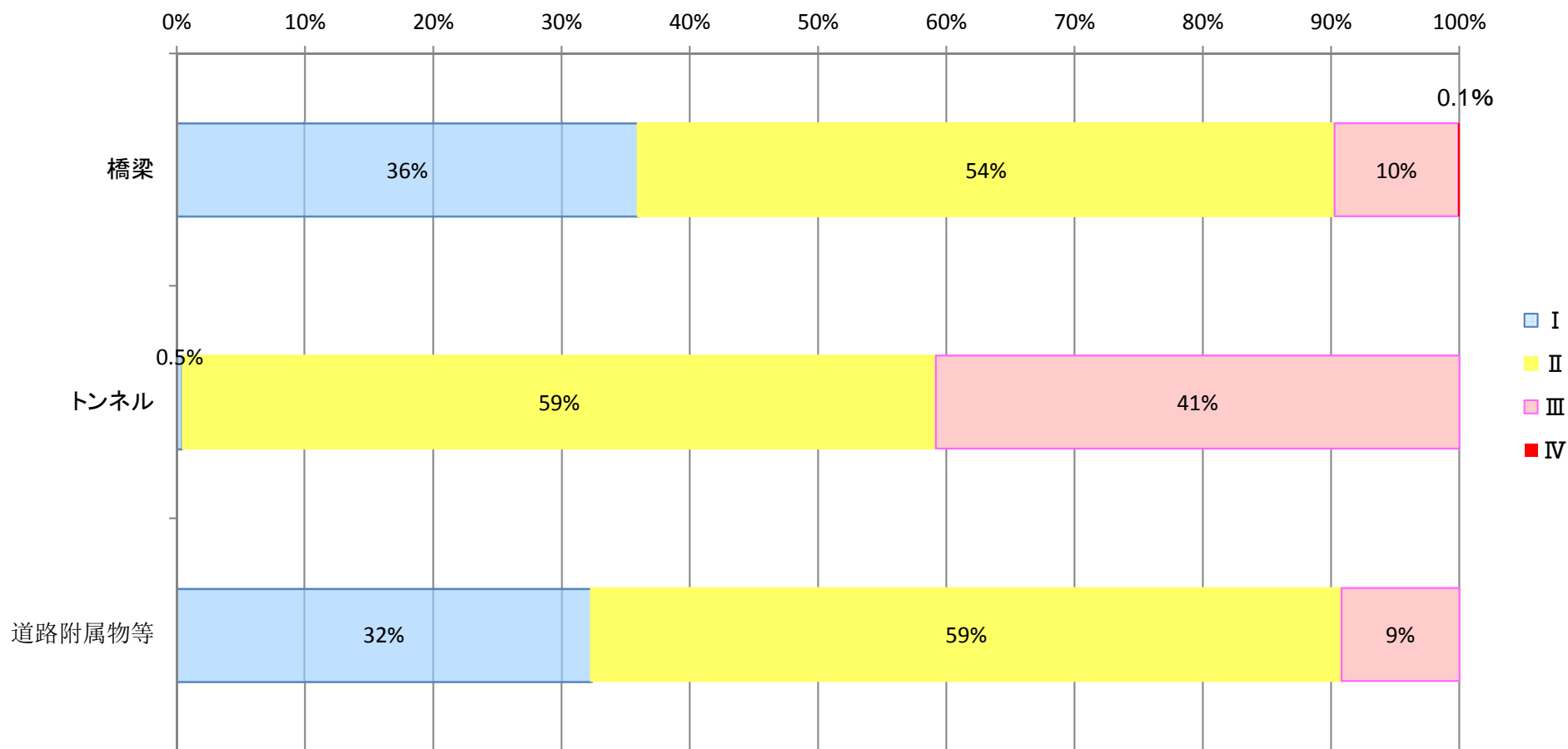
※5年間の点検計画については、平成26年時点の計画
※四捨五入の関係で、各年度の値と、合計値が異なる場合がある

※ 出典：道路メンテナンス年報(平成29年8月)より中部地方整備局集計

平成26～28年度 点検実施状況《静岡県》

○平成26～28年度の点検結果、早期に修繕が必要な施設の割合は、
橋梁で約10%、トンネルで約41%、道路附属物等で約9%

<橋梁、トンネル、道路附属物等の判定区分の割合(全道路管理者合計)>



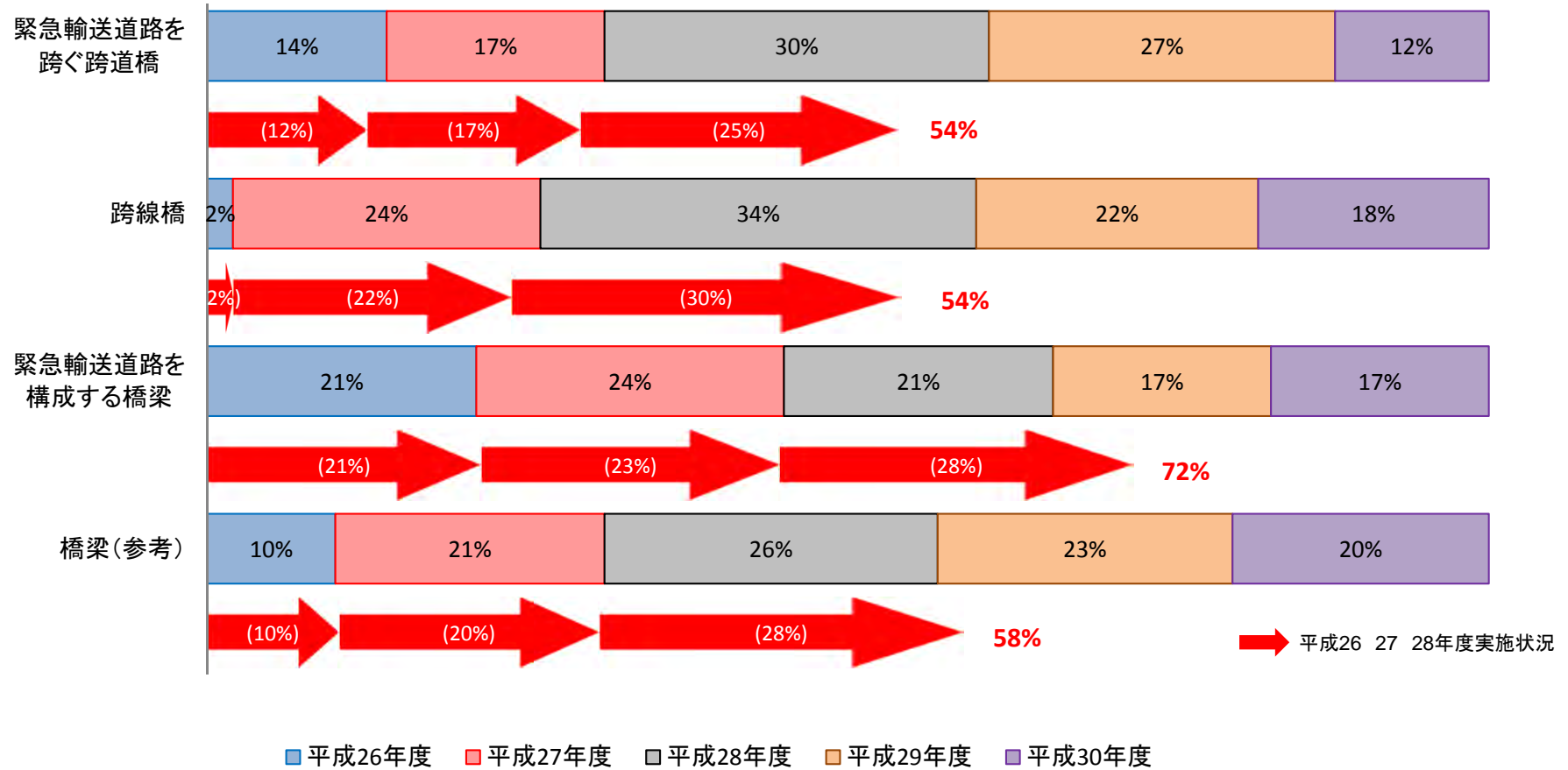
※平成26～28年度の3ヶ年の合計値
※四捨五入の関係で、各年度の値と、合計値が異なる場合がある

※ 出典：道路メンテナンス年報(平成29年8月)より中部地方整備局集計

平成26～28年度 最優先で点検すべき橋梁 点検実施状況《静岡県》

○平成26～28年度までの累積点検実施率は、緊急輸送道路を跨ぐ跨道橋梁約54%、跨線橋約54%、緊急輸送道路を構成する橋梁約72%

<5年間の点検計画・累積点検実施率(全道路管理者)>



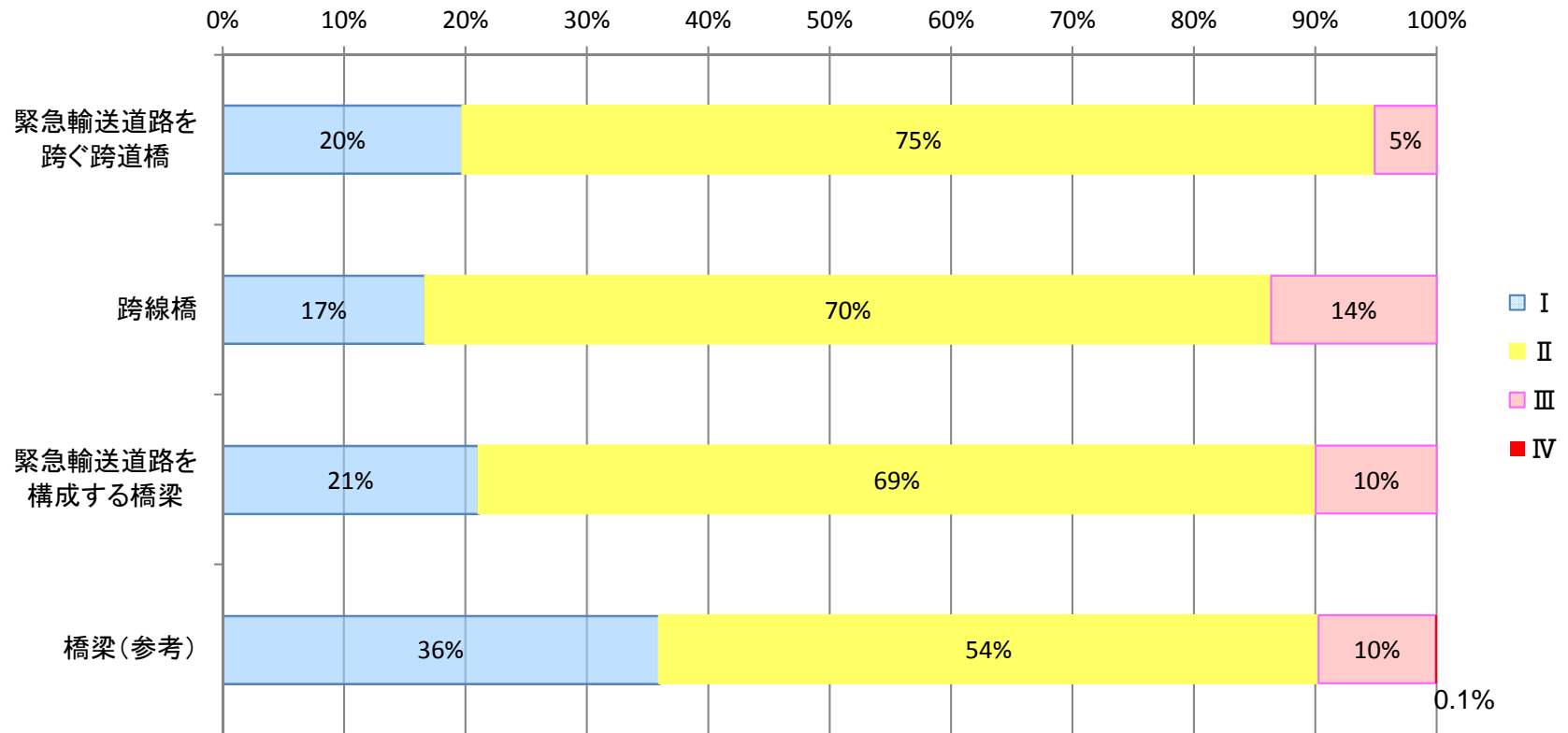
※5年間の点検計画については、平成26年時点の計画
 ※四捨五入の関係で、各年度の値と、合計値が異なる場合がある

※ 出典：道路メンテナンス年報(平成29年8月)より中部地方整備局集計

平成26～28年度 最優先で点検すべき橋梁 点検実施状況《静岡県》

○跨線橋は、早期に修繕を行う必要があるものの割合が約14%と橋梁全体の割合約10%を上回っている

＜最優先で点検すべき橋梁の判定区分の割合(全道路管理者合計)＞



※5年間の点検計画については、平成26年時点の計画
※四捨五入の関係で、各年度の値と、合計値が異なる場合がある

※ 出典：道路メンテナンス年報(平成29年8月)より中部地方整備局集計